

## 令和2年度第2回 福知山市立図書館協議会 議事録（要旨）

開催日時：令和2年12月7日14時58分～16時50分

開催場所：福知山市立図書館中央館 研修室

出席委員：神谷委員長、仲野副委員長、赤井委員、足立委員、正木委員、安川委員、  
善積委員、木村委員、芦田敦委員

欠席委員：山路委員、芦田信委員、西村委員

事務局：浅田館長、森本次長、大槻次長、塩谷係長

傍聴者：なし

議題：（1）令和元年度図書館年報について

（2）「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」令和元年度実績報告について

（3）令和2年度図書館事業報告（令和2年4月～11月）について

（4）「令和3年度社会教育の重点」の作成にかかる、図書館活動の重点目標について

（5）「第3次子どもの読書活動推進計画策定」にかかるパブリックコメント実施について

（6）（非公開）

（7）「暮らしに読書を、おうえん事業」の実施について

（8）新たなバリアフリーサービスの開始について

（9）その他（報告事項等）

①全国公共図書館協議会表彰の受賞について

②池上彰さん監修の本「日本のあかるいニュース」掲載記事について

③図書館ホームページのセキュリティ方式変更について

---

1 開会挨拶：神谷委員長

2 前回議事録の承認

3 協議事項

### （1）令和元年度図書館年報について

～資料「令和元年度図書館年報」に基づき事務局から説明～

事務局：「図書館年報」は、図書館の沿革、所蔵資料数や各種統計、利用実績などをとりまとめて発行している冊子です。13ページの雑誌スポンサー制度では、福知山アークホテル様として芦田敦嗣委員様にご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。26ページには図書館協議会について、委員の皆様のお名前と、活動実績を載せております。

委員：貸出点数が令和元年度に大きく減少した要因は。

事務局：3月10日から月末まで新型コロナ感染拡大の影響により臨時休館したことで、約4万冊の減となった。利用者が感染リスクを避けるため、図書館への来館を控えたためと考える。5

月20日の再開時は通常の6割程度の来館であったが、現在は約8割まで戻って来ている。

## (2) 「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」令和元年度実績報告について

～資料『第2次福知山市子どもの読書活動推進計画』令和元年度実績報告』に基づき、事務局から説明～

事務局：令和元年度は、計画実施4年目ということで、図書館だけでなく関係機関にも様々な事業に取り組んでもらった。中央館の新たな取り組みとしては、資料8ページ(3)の夏休みに実施した「親子で科学実験」「子どもふるさと研究講座」といった体験型のイベント、淑徳高校生による大河ドラマ関連の「ザ・戦国武将アート展」が挙げられる。この実績報告は、過去4年分の実績報告と併せて、「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」の策定委員に確認いただいた。また、第2次計画の総括については、来年度の図書館協議会にて報告を行う。

委員：第2次計画の進捗状況は、おおむね順調か。

事務局：今年春まで順調に進んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館や、おはなし会等のイベントを中止せざるを得ない状況にあった。再開後も、三密を避けるため予約制で行ったり、出張おはなし会も何カ所かは実施しているが、昨年同時期と比べると少ない。2学期に入ると、社会見学は昨年度とほぼ同数の学校数で実施したが、三密を避けるため受入れ人数を制限し、クラスごとに3日間に分けて実施するなどの対応を行っている。

委員：来年度の実績報告の数値が下がる表示よりは、比率的に削減して実績を出すべき。開館時間や、イベント回数など比率的に見ても下がっているか。

事務局：昨年までは、当日来られた方を、会場に入れる人数いっぱい受入れしていたが、今年度は予約制で7組・5組限定で受入れしていることと、1日の実施回数も2回から1回に減らしているため、人数は減となり厳しい状況である。

委員：申込み状況はどうか。

事務局：夏場は予約がすぐに埋まっていたが、最近は感染者数が増えたことや、風邪・インフルエンザも多く、寒さもあり外に出にくい状況からか、予約が埋まりにくい状況となっている。

委員：私は小学校で勤務している。中学校ブロックに1名配置されている学校司書が週1回本校に来られ、本の登録や季節の掲示物、整理整頓など学校現場は助かっている。資料9ページにある「学校司書研修会」はどのような研修か。

事務局：これまでに実施した学校司書研修会の内容は、次のとおり。

- ・本の修理講習会
- ・読みきかせ講習、ブックトーク講習 講師：仲野副委員長（毎年1回）
- ・子どもに興味をもってもらおう掲示物の作り方 講師：遷喬小の環境整備ボランティア
- ・本の表紙のビニールコーティング（ブッカー）のかけ方

また昨日は、10月に開催した研修会に続いて、読みきかせの自主研修会があり、5名が参加されていた。図書館も、引き続き後方支援を行う。

## (3) 令和2年度図書館事業報告（令和2年4月～11月）について

～資料「令和2年度図書館事業報告（令和2年4月～11月）」に基づき、事務局から説明～

事務局：今年度は新型コロナ感染症対策により、一部開催回数や受け入れ人数を制限して受入れを行っている事業や、開催を見合わせたものがあるが、3ページに記載のとおり、逆にコロナ禍だからこそ実施できる事業を行った。3ページの「図書の寄贈」の欄にある国際ソロプチミスト福知山様からの寄贈は、今年で30回連続の長きにわたりお世話になっているところです。

委員：図書の寄贈にある、「足立さんからの寄贈250冊」について詳細を教えてください。また、市内中学校職場体験と高校インターンシップの実施見合わせについて、私の職場でも毎年、複数校から数名ずつ受入れしているが、今年はコロナ禍で実施されなかった。公的機関でも受入れされなかったため、今年の職場体験やインターンシップがどうなったか、心配している。

事務局：寄贈者の足立さんは、元警察官の上六人部の方で、退職後に執筆し出版された。ご自宅にあった在庫を「コロナ禍の折に、ぜひ有効活用してほしい」とのことで寄贈いただいた。図書館各館で利用者に配布した。職場体験は、学校側が判断され、実施見合わせの連絡があった。

委員：新型コロナ関係で、新しく実施した事業と中止した事業の差引について、概算でよいので影響数値を求めておかれると、参考になるのでは。

著者からの寄贈本を図書館で配布されたことに関して、図書館は基本的に出版物全てを受入れることとなっているが、中には広告目的の送り付けもある。内容に関して、配布しても差し支えないか、基準を作っておくとよいのでは。

#### **(4)「令和3年度社会教育の重点」の作成にかかる、図書館活動の重点目標について**

事務局：「社会教育の重点」は毎年春に市教育委員会が発行しています。市が実施している社会教育の柱となる事項について、関係各課の取組みを担当の生涯学習課が取りまとめて作成しており、これから令和3年度版を作成するところです。令和2年度版は、福知山の図書館が目指す取組みについて、本との出会いや課題解決だけでなく、「居場所としての図書館」を付加して大きく見直したが、3点目については、担当課から「生涯学習全てにおける大きな目標であるため、図書館だけに用いるのはどうか」との意見があり、『場』を追加して「あらゆる可能性をサポートする場」のように修正するよう考えています。委員の皆様にご意見をお伺いします。

委員：3点目に「場」を入れてはとのことだが、次の項目に「居場所」として場所が入っている。「公民館活動の推進」との整合性を考えると、図書館は場所を指すが、公民館活動は「場」ではないと思われる。

委員：私は「場」を追加しなくても良いと思っている。この場で図書館協議会としての意見がまとめられれば、社会教育委員会議で伝えます。

委員：私の考え方としては、図書館がベースとなり、公民館活動や生涯学習活動など様々な活動が豊かになると思う。言葉の問題ではなく、市全体で図書館の位置付けをどう捉えておられるのか、考え方の問題だと思う。

事務局：今のご意見をしっかりと伝え、図書館側から、本を借りるだけではない、様々なことが解決できる場として、認識を変えていくことが必要と思っている。

委員：この件は、令和2年度版の文章を令和3年度も引継ぐと決めたい。

#### **(5)「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定にかかるパブリックコメントの実施について**

事務局：本年度は「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」5か年計画の最終年度にあたり、令和3年度からの新たな計画の策定を現在進めているところである。「第3次計画」の策定にあたっては、図書館協議会からも仲野副委員長様、赤井委員様に策定委員として携わっていただいている。現在は市議会と教育委員会への説明の準備を進めている。令和3年1月6日からパブリックコメントを開始予定としており、市役所や三支所窓口への設置や図書館ホームページ等で周知し、広く市民の方からご意見をいただき、よりよい計画となるよう、最終調整したい。

委員：パブリックコメントは、あまり書込みがないことが多い。広報カードで新聞社にも取り上げてもらえると思うが、市のLINEなど色んな媒体で広報すれば、より広く意見が得られるのでは。

事務局：市のLINEは子育て情報などに特化している。担当の秘書広報課が、内容によりLINEと市ホームページの棲み分けをしており、希望は行いが、LINEに載せてもらえるかは不明である。

委員：「最近新聞を取っているご家庭が少ないので、LINEが有効だと思う。

委員：LINEでの通知は最適なルートだと思う。図書館協議会からこのような意見があったという事でお願いしたい。

#### **(7)「暮らしに読書を、おうえん事業」の実施について**

事務局：図書館では、市内の小学校、幼稚園、保育園、児童クラブ、福祉施設、地域のサロン等の団体に、図書館の本をセットにして貸出す新たなサービスを開始します。この事業は、3月の臨時休館中に絵本や児童書等をセットにして小学校や放課後児童クラブに貸し出した「緊急支援セット貸出」を発展させ、6月補正予算で事業化したものです。一人で図書館に来ることが難しい方が、地元の施設等で気軽に本を楽しんでいただけるように、あらかじめ図書館職員が選んだ本をセットにして貸し出すものです。申込書は図書館窓口、電話、FAXで受付する。70セットの中から選ぶことができ、50冊セットを最大2カ月間借りられる。1月14日の開始日に50冊揃わないセットがあることも予想されるが、今コロナが流行る中で、少しでも早く始めたいと準備を進めている。正式に決まれば、図書館ホームページ等でお知らせします。

委員：この事業は、今後も継続するのか。

事務局：継続します。前回3月は臨時休館中であったため図書館から配達したが、新たな取り組みでは通常開館中でもあることから、団体に図書館まで受け取りに来てもらう形になる。

委員：コロナ禍での事業が発展的に繋がった良い事業だと思う。

事務局：図書館まで行けなくなったと言われる高齢者や、コロナ禍で外出抑制の折に、人込みや移出を控えている方のために、外出抑制の一助になればと考えている。市内のあちこちでミニライブラリーができて本と出会い、図書館での密の発生を防ぐ効果も期待できる。

委員：1月14日には貸出セットのリストはできているのか。

事務局：リストは現在作成中であり、開始までに準備します。小学生向けの読み物セットや、0歳児からの読みきかせセット、一般向けには実用書など趣味の本、大活字本、紙芝居など、ラインナップリストを用意し、セット毎に50冊のリストを付ける。サロンに来られて楽しむほか、サロンから貸出されても良いこととする。

委員：先程の「社会教育の重点」の発展にある事業だと考える。子どもの読書計画がコロナ禍で出来なかった事業の補いになるデータであれば、まとめておけば良いと思う。

委員：町の至る所に図書館がある、長野県の小布施町図書館「まちとしょテラソ」のようになれば、素敵だと思う。美容院の待合室とか、いろんな所で気楽に図書館を上手く生かしてもらえば、町中にたくさんの図書館ができるのでは。

事務局：身近に本がある環境に馴染んでいただくことから、と思っている。2カ月毎に入れ替えることで、子どもたちが色々な事に親しんでもらえると思う。どういう使い方をされるか、借りられた方次第の部分もある。色々な使い方をフィードバックして、お知らせすることで広がっていけばと思う。今のところ70セットなので、人気があれば増やすことを、利用が少ない場合も検討を要する。ただし本の管理は大変であり、汚した、破れた、は覚悟せねばならない。現在、正明寺のサロンでモニタリングを行っている。ダミー本50冊をセットにして、民生委員が貸出ノートを作り、貸出記録を控えてもらっている。サロンの利用者以外でも、公民館に置いてあるので誰でも利用してもらえる。今のところ非営利の所からスタートする。

委員：本の汚れや紛失は弁償するのか。

事務局：弁償は必要になる。本を丁寧に扱ってもらうよう、お伝えしていく。

委員：選書が大変だと思うが、プロが選書した本ということで、安心感がある。営利目的のところには配置しないとのことだが、セットを作成した選書の状況をアドバイスするのはできると思う。

事務局：放課後児童クラブの指導員さんが、図書館に本を選びに来られているが、貸出セットだと自分が普段選ばない本と出会えるので、また違う面白さがあることを3月の貸出セットの際に伺った。50冊をセットにしておき貸出しするのは、府下でも初めてと思われる。

委員：私は児童クラブへ個人の本を貸し出しており、知人がカフェを開いたので、そこにも本を持って行っている。セットにしてある本は重宝がられるが、人員は必要。そのためにも、人員を要望し、事業を拡げていただきたい。

## **(8) 新たなバリアフリーサービスの開始について**

事務局：令和元年6月に「読書バリアフリー法」が施行されたことを受けて、本市図書館でも「障害の有無にかかわらず、誰もが等しく読書に親しめる環境整備を推進すること」を重点施策の一つに掲げて、取組みを進めてまいりました。12月の障害者週間に合わせて「図書館資料宅配サービス」を新たに開始するとともに、バリアフリー資料の活用と整備促進を推進してまいります。図書館資料宅配サービスは、図書館への来館が困難な方を中心に、図書館職員が訪問し、図書資料の貸出や返却を行うものです。利用できる方は、別紙資料のとおりです。なお令和3年1月から3月は試行期間であり、その間にニーズの把握や、サービス内容の改善を行います。市の高齢者福祉課や障害者福祉課との連携も行っていきたいと考えています。試行期間以降、ニーズが多く職員による宅配が困難になる場合は、郵送も視野に入れていきます。図書館で実施しているバリアフリーサービスの一覧は、別紙資料のとおりです。中央館にはエレベーターや点字ブロック、点字案内等の設備が整っており、読書の補助器具も揃えておりますが、これまで活用されていなかったことを踏まえ、今年度、バリアフリー資料の強化、リスト化を行って

まいりました。また新たなサービスとして、活字による読書が困難な方について、マルチメディアデジターの貸出しを行うこと、視聴覚資料貸出点数の拡大も行っています。新たな資料を作成するなど、豊かな暮らしの実現をサポートします

委員：いいことだと思うが、身体の状態の悪い方が借りられる場合、どのようにして本を選ばれるのか。リストを作って選んでもらうのか。

事務局：バリアフリー申請は代理の方でも受付可能であり、見たい資料があれば要望を聞き、レファレンスで対応する。視覚に障害のある方には、朗読CDのリスト等を作っていきたい。先日は家族の方が代理登録しに来られた。中央館は建物の設備は整っているが、図書館資料の整備などソフト面は人あつてのサービスであり、今後軌道に乗れば、利用の拡大に応じて、先程から出ているように人員の要望が必要だと考えている。社会福祉協議会にも協力いただいている。

委員：すごくいいことだが、難しいと思う。

事務局：すでに同様の事業を行っている南部では、利用は少ない。

## (9) その他

### ①全国公共図書館協議会表彰の受賞について

事務局：全国公共図書館協議会表彰があり、仲野副委員長と、谷垣前委員長が、図書館協議会委員として長年にわたり活躍してこられた功績により受賞されましたことをご紹介します。

### ②池上彰さん監修の本「日本のあかるいニュース」記事掲載について

事務局：日本全国の明るいニュースをまとめた本に、昨年12月に、中央館で「外国籍の子どもたちにも生きやすい社会をつくっていこう」をテーマに、様々な言語の外国語絵本を集めてリスト化し、特集展示を行ったが、その際の両丹日日新聞のWEB記事を取り上げていただき、この度出版された本に掲載されたものです。1階エレベーター横で展示中です。

### ③図書館ホームページのセキュリティ方式変更について

事務局：図書館ホームページのセキュリティ方式「TLS 1.0」「TLS 1.1」を無効化とします。日時は12月21日(月)15時以降です。この作業により、「TLS 1.2非対応」の環境である、いわゆるガラケーや古いバージョンの携帯電話から、図書館ホームページが見られなくなります。利用者の皆様に、より安全に図書館ホームページをご利用いただくものであるため、ご理解を求めています。

委員：広報はしているのか。

事務局：図書館ホームページのトップで広報している。この件に関しては、数日前にNECから連絡があったばかりであり、早急に広報を行ったところである。

委員：アクセスした時には繋がらない人もいるのでは。

事務局：ガラケーで図書館ホームページを見ておられる方は少ないが、そういった方も出てくると思われる。